

刑 法 犯 の 概 況

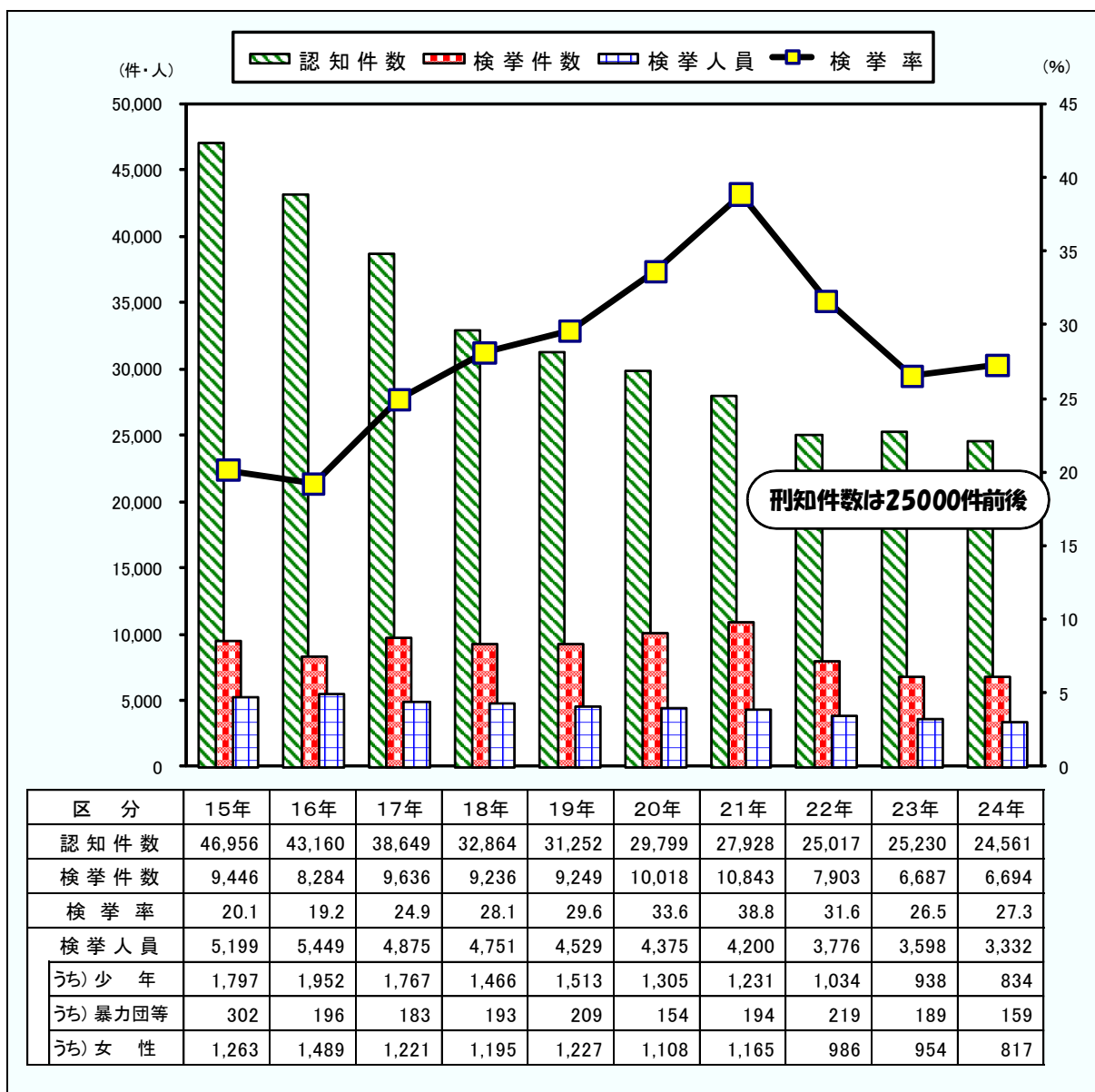
1 刑法犯

● 刑法犯は横ばい傾向に転じる

平成24年中の岐阜県下の刑法犯は、認知件数が24,561件、検挙件数が6,694件、検挙人員が3,332人、検挙率が27.3%でした。前年と比較すると、認知件数は669件（-2.7%）減少、検挙件数は7件（0.1%）増加、検挙人員は266人（-7.4%）減少、検挙率は0.8ポイント上昇となりました。

刑法犯の認知件数は3年連続25,000件前後で推移しており、大幅な減少から横ばい傾向に転じています

図-1 刑法犯 認知・検挙状況 年次推移

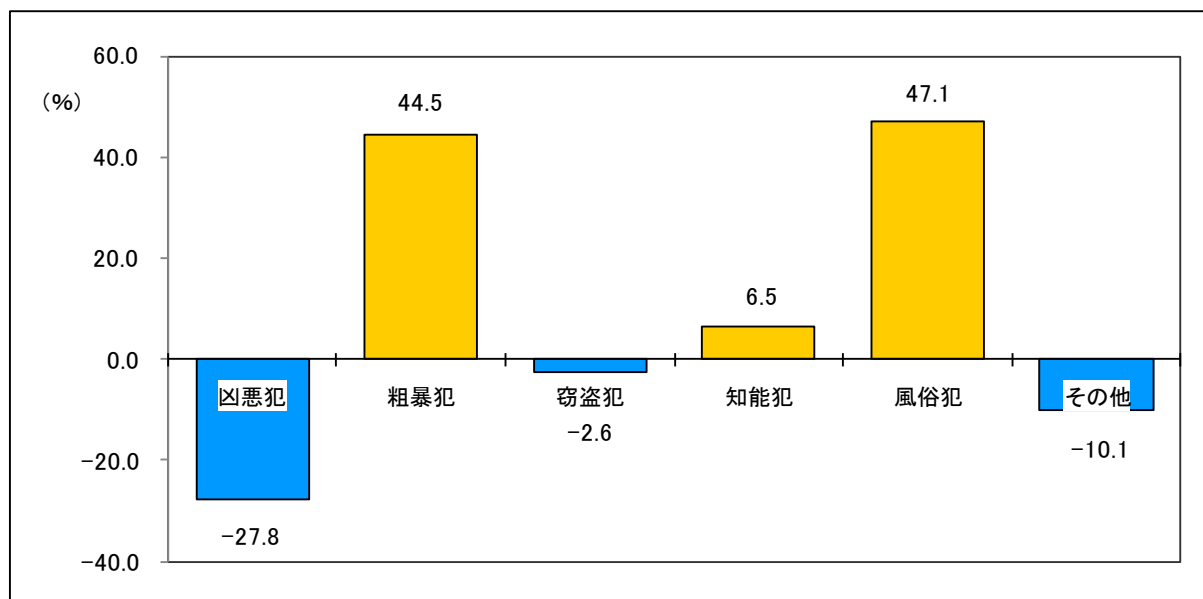


刑法犯の包括罪種別認知件数は、凶悪犯が70件、粗暴犯が705件、窃盗犯が19,081件、知能犯が557件、風俗犯が175件、その他の刑法犯が3,973件でした。前年と比較すると、粗暴犯、知能犯、風俗犯がそれぞれ増加しました。

表-1 刑法犯 包括罪種別 認知状況

区分	包括罪種	総数	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他の刑法犯
平成24年		24,561	70	705	19,081	557	175	3,973
	構成比	100.0	0.3	2.9	77.7	2.3	0.7	16.2
平成23年		25,230	97	488	19,584	523	119	4,419
	構成比	100.0	0.4	1.9	77.6	2.1	0.5	17.5
増減	件数	-669	-27	217	-503	34	56	-446
	%	-2.7	-27.8	44.5	-2.6	6.5	47.1	-10.1

図-2 刑法犯 包括罪種別 認知件数 前年対比



※ 包括罪種とは、刑法犯のうち被害法益、犯罪態様等の観点から類似性の強い罪種を包括して6種に分類したものをいいます。

- ・凶悪犯 ————— 殺人、強盗、放火、強姦
- ・粗暴犯 ————— 凶器準備集合、暴行、傷害、脅迫、恐喝
- ・窃盗犯 ————— 窃盗
- ・知能犯 ————— 詐欺、横領、偽造、汚職、あっせん利得、背任
- ・風俗犯 ————— 賭博、強制わいせつ、公然わいせつ、わいせつ物
- ・その他の刑法犯 ——— 占有離脱物横領、公務執行妨害、住居侵入、逮捕監禁、略取・誘拐等、器物損壊など上記に掲げるもの以外の罪名

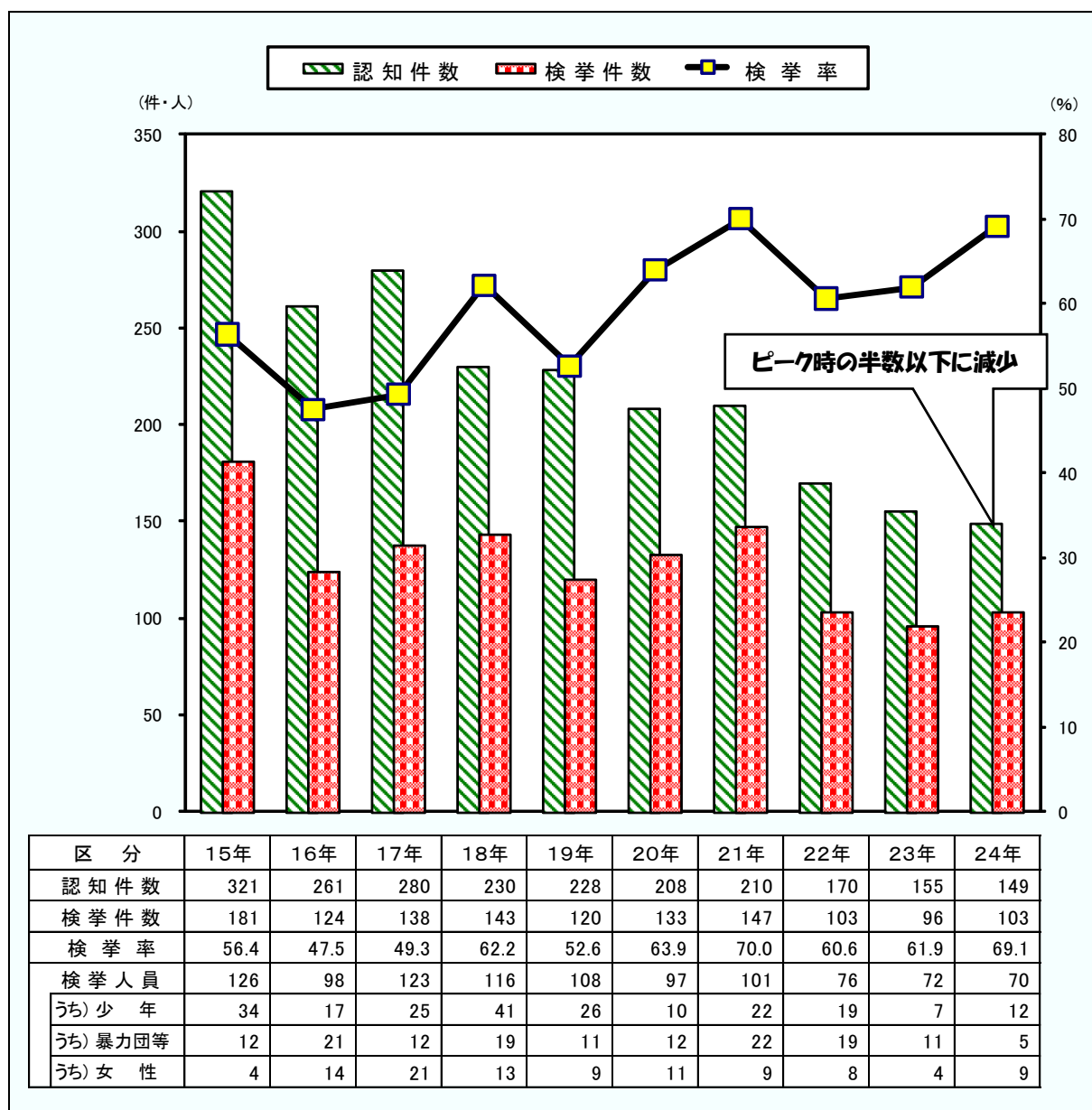
2 重要犯罪（殺人、強盗、放火、強姦、略取・誘拐等、強制わいせつ）

● 重要犯罪はピーク時の半数以下に減少

平成24年中の岐阜県下の重要犯罪は、認知件数が149件、検挙件数が103件、検挙人員が70人、検挙率が69.1%でした。前年と比較すると、認知件数は6件（-3.9%）減少、検挙件数は7件（7.3%）増加、検挙人員は2人（-2.8%）減少、検挙率は7.2ポイント上昇となりました。

重要犯罪の認知件数は平成15年までの3年間は300件を上回りましたが、その後は減少傾向で推移し、平成24年はピーク時の半数以下に減少しました。

図-3 重要犯罪 認知・検挙状況 年次推移

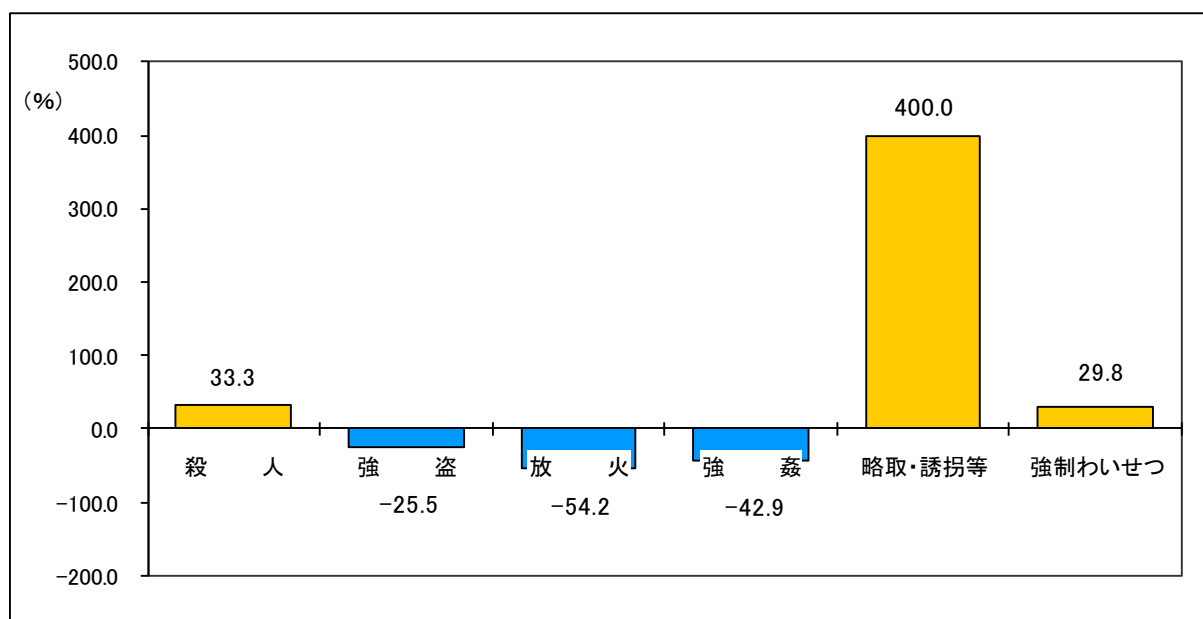


重要犯罪の罪種別認知件数は、殺人が16件、強盗が35件、放火が11件、強姦が8件、略取・誘拐等が5件、強制わいせつが74件でした。前年と比較すると、殺人、強制わいせつ、略取・誘拐等がそれぞれ増加しました。

表－２ 重要犯罪 罪種別 認知状況

区分		罪種	総数	殺人	強盗	放火	強姦	略取・誘拐等	強制わいせつ
平成24年			149	16	35	11	8	5	74
平成23年			155	12	47	24	14	1	57
増減	件数		-6	4	-12	-13	-6	4	17
	%		-3.9	33.3	-25.5	-54.2	-42.9	400.0	29.8

図－４ 重要犯罪 罪種別 認知件数 前年対比



※ 重要犯罪とは、刑法犯のうち殺人、強盗、放火、強姦、略取・誘拐等、強制わいせつの各罪種をいいます。

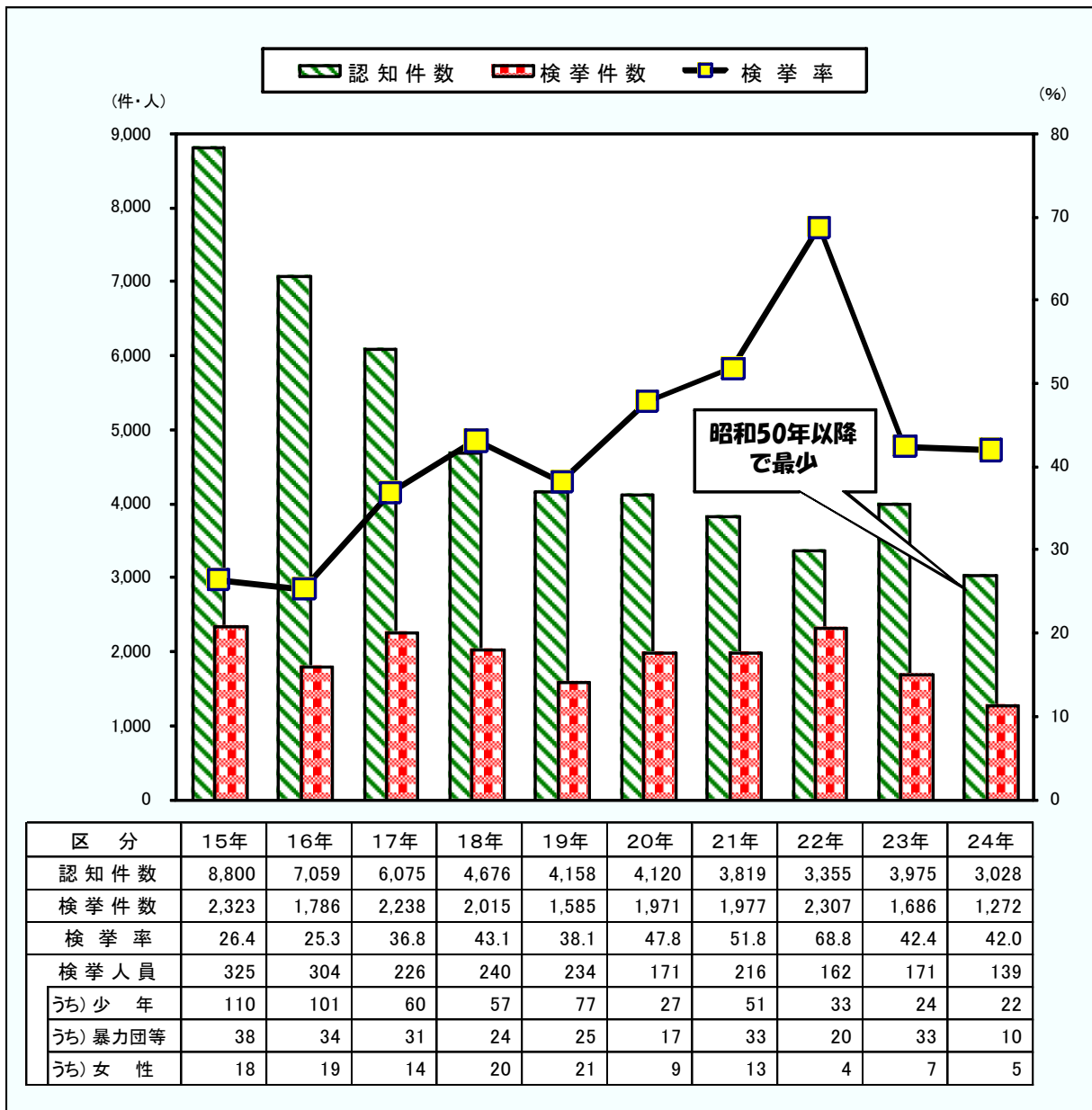
3 重要窃盗犯（侵入盗、自動車盗、ひったくり、すり）

● 重要窃盗犯は昭和50年以降で最少

平成24年中の岐阜県下の重要窃盗犯は、認知件数が3,028件、検挙件数が1,272件、検挙人員が139人で、検挙率が42.0%でした。前年と比較すると、認知件数は947件（-23.8%）減少、検挙件数は414件（-24.6%）減少、検挙人員は32人（-18.7%）減少、検挙率は0.4ポイント下降となりました。

重要窃盗犯の認知件数は平成23年に8年ぶりに増加しましたが、24年は再び減少に転じ、統計が残る昭和50年以降で最も少ない認知件数でした。

図-5 重要窃盗犯 認知・検挙状況 年次推移

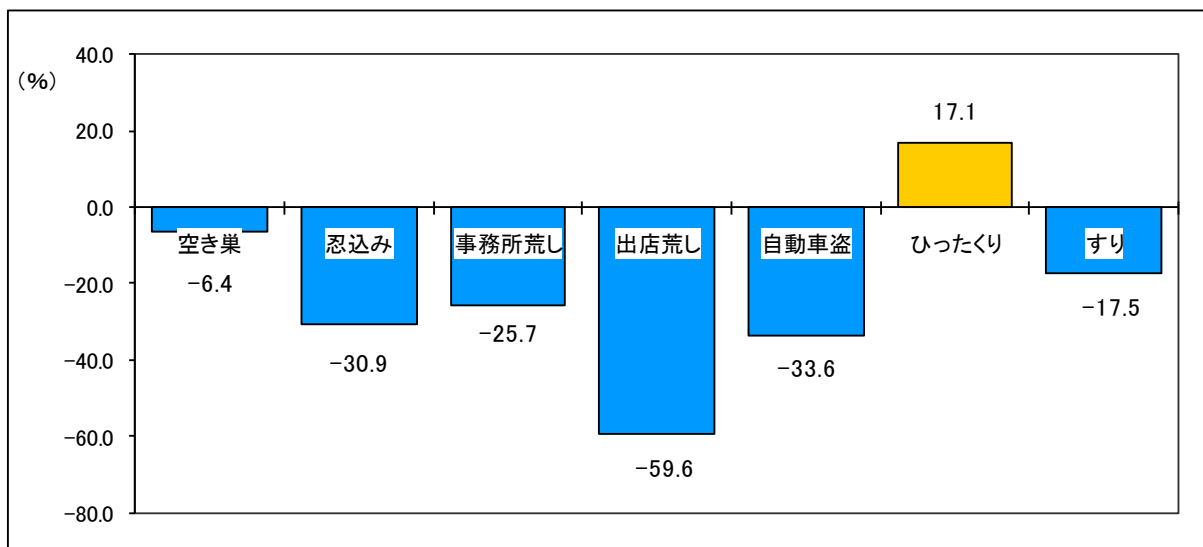


重要窃盗犯の手口別認知件数は、侵入盗が2,473件、自動車盗が481件、ひったくりが41件、すりが33件でした。前年と比較すると、侵入盗、自動車盗、すりが減少しており、侵入盗は空き巣、忍込み、事務所荒し、出店荒しなど、主な手口はすべて減少しました。

表－3 重要窃盗犯 手口別 認知状況

区分	手口	総数	侵入盗	うち)			自動車盗	ひったくり	すり
				空き巣	忍込み	居空き			
平成24年		3,028	2,473	1,110	260	42	481	41	33
平成23年		3,975	3,176	1,186	376	79	724	35	40
増減	件数	-947	-703	-76	-116	-37	-243	6	-7
	%	-23.8	-22.1	-6.4	-30.9	-46.8	-33.6	17.1	-17.5

図－6 重要窃盗犯 主要手口別 認知件数 前年対比



※ 重要窃盗犯とは、窃盗犯のうち侵入盗、自動車盗、ひったくり、すりの各手口をいいます。